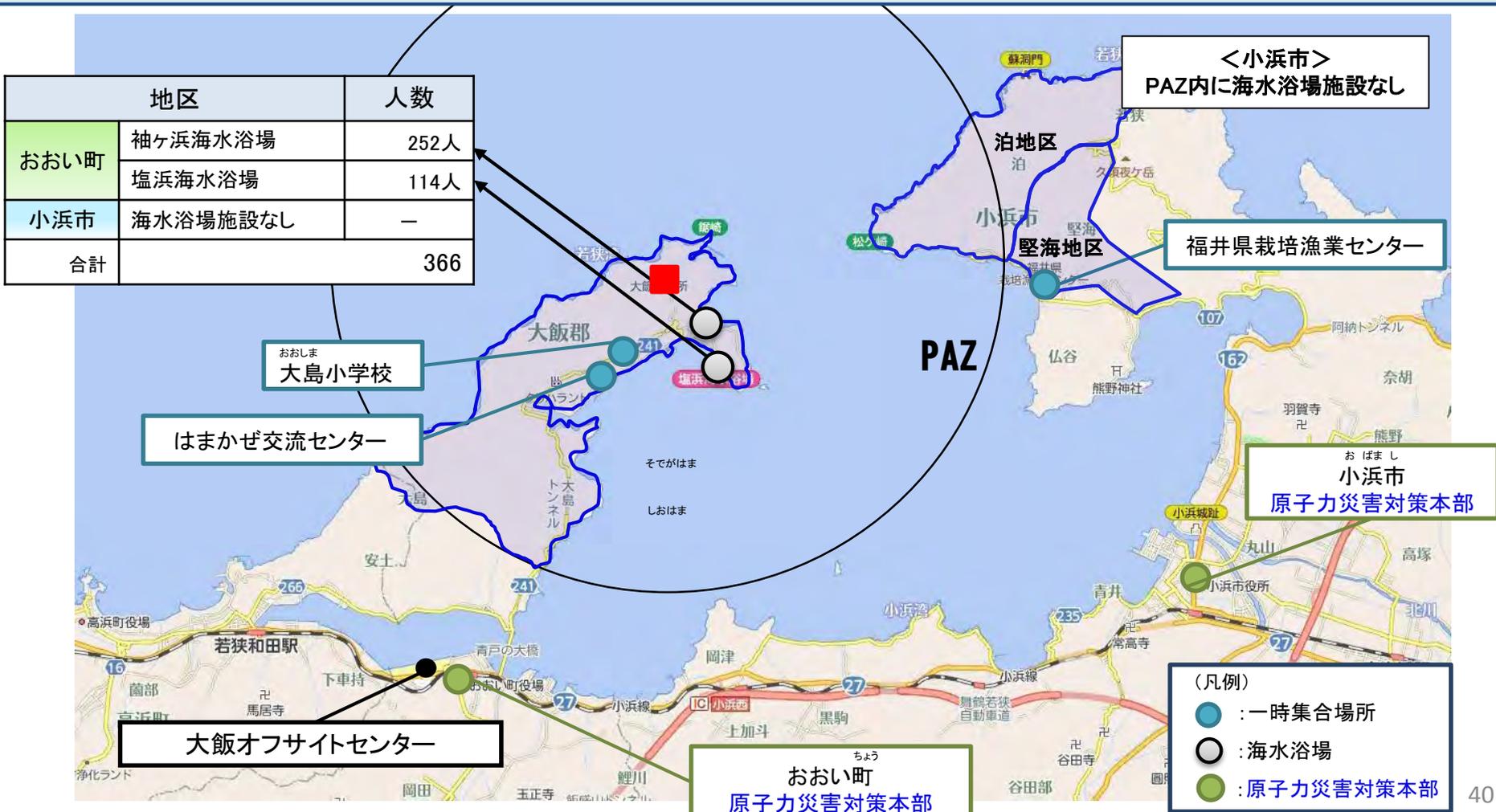


# PAZ内の海水浴場及び入場者の数

- おおい町ではPAZ内に海水浴場が2ヶ所あり、平成27年度シーズンの1日あたりの最大入込客数は約366人。
- おおい町の海水浴客の交通手段は、対象となる海水浴場周辺の駐車場利用率によると全体の9割以上が自家用車利用で、貸切バス及び公共交通機関の利用は1割に満たない。(平成27年度観光客入込調査 おおい町)



# おおい町において全面緊急事態で必要となる輸送能力及びその確保

- おおい町において全面緊急事態で必要となる輸送能力は、自家用車で避難できない住民、観光施設から避難する一時滞在者、海水浴場から避難する一時滞在者、合計**229人分**:バス**6台**。
- 全面緊急事態発生時には、福井県嶺南地方のバス会社が保有する車両のほか、関西電力が配備する車両により、必要車両台数を確保。
- 車両及び運転手については、福井県バス協会等の協力により、更に余裕を持った台数・人数を確保。

## ＜おおい町において全面緊急事態で必要となる輸送能力＞

	想定対象人数 ※1	必要車両台数	備考
自家用車で避難できない住民	57人	2台	1台のバスが複数箇所をまわり乗車1台当り45人程度の乗車を想定【資料P37】
観光施設から避難する一時滞在者	135人 (1,343人×0.1)※3	3台	バス1台当り45人程度の乗車を想定1日あたりの観光客数1,343人のうち、9割以上が自家用車で訪問している(『平成27年度観光客入込調査おおい町』)ことを踏まえ、その1割を想定対象人数として算入。【資料P38】
海水浴場から避難する一時滞在者	37人 (366人×0.1)※3	1台	バス1台当り45人程度の乗車を想定1日あたりの海水浴客366人のうち、9割以上が自家用車で訪問している(『平成27年度観光客入込調査おおい町』)ことを踏まえ、その1割を想定対象人数として算入。【資料P39】
<b>合 計</b>	<b>229人</b>	<b>6台</b>	—

※1 数字は現段階で地方公共団体が把握している暫定値      ※2 民間企業に勤務する就労者は、通勤に使用する自家用車もしくはバス等により避難

※3 観光客、海水浴客の9割以上が自家用車で訪問している(『平成27年度観光客入込 調査おおい町』)ことを踏まえ、1割を想定対象人数に算入。

## ＜おおい町における全面緊急事態での輸送能力の確保＞

		確保車両台数	備考
		バス	
(A)必要車両台数		6台	
(B)確保車両台数		6台	
確保先	バス会社[福井県嶺南地方]	3台	保有車両台数 バス173台
	関西電力	3台	保有車両台数 バス9台

※ 不測の事態により確保した輸送能力で対応できない場合、実動組織(警察、消防、海保庁、自衛隊)に支援を要請

# 小浜市において全面緊急事態で必要となる輸送能力及びその確保

- 小浜市において全面緊急事態で必要となる輸送能力は、自家用車で避難できない住民**27人分**:バス**1台**。
- 全面緊急事態発生時には、福井県嶺南地方のバス会社が保有する車両のほか、関西電力が配備する車両により、必要車両台数を確保。
- 車両及び運転手については、福井県バス協会等の協力により、更に余裕を持った台数・人数を確保。

## <小浜市において全面緊急事態で必要となる輸送能力>

	想定対象人数 ※1	必要車両台数	備考
自家用車で避難ができない住民	27人	1台	1台のバスが複数箇所をまわり乗車。 1台当り45人程度の乗車を想定。 【資料P37】

※1 数字は現段階で地方公共団体が把握している暫定値

※2 民間企業に勤務する就労者は、通勤に使用する自家用車もしくはバス等により避難

## <小浜市における全面緊急事態での輸送能力の確保>

		確保車両台数	備考
		バス	
(A)必要車両台数		1台	
(B)確保車両台数		1台	
確保先	関西電力	1台	保有車両台数 バス9台

※ 不測の事態により確保した輸送能力で対応できない場合、実動組織(警察、消防、海保庁、自衛隊)に支援を要請